

令和7年度 第4回 広沢小 学校運営協議会

令和8年2月17日（火）

13:30～15:00 開放教室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶（杉浦会長）

2 校長挨拶（校長）

3 議長の選出（委員の互選による）

4 前回会議録確認

5 熟議 <議長： >

（1）学校関係者評価について（主幹教諭）

- ・学校が自己評価（子供・保護者・教職員のアンケート結果及び、その分析と改善策）の結果について説明
- ・学校の説明を受け、改善策について熟議

（2）来年度の学校運営の基本方針について（校長）

（3）学校運営協議会の自己評価

- ・学校運営協議会の取組についての振り返り

6 報告

- ・夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）
- ・学校支援活動の進捗について（学校支援コーディネーター）

7 連絡事項

- ・卒業式・入学式への御出席について（教頭）
- ・来年度の委員について（校長）
- ・来年度の運営協議会の予定日について（教頭）

第1回…5月14日（木）13:30～ 第2回…6月15日（月）13:30～

第3回…10月22日（木）13:00～ 第4回…2月12日（金）13:30～

閉会

【メ 毛】

学校運営協議会 年間計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

| 回 | 日時 会場 | 主な内容 熟議のテーマ 等 | 備考 |
|---|--|--|--|
| 1 | 令和7年 5月15日 木曜日 13:30～15:00 会議室 | 熟議テーマ (1)令和7年度学校運営の基本方針について (2)本年度の学校運営協議会の目標および取組について (3)「いじめ防止等のための基本方針」について ・説明と共通理解 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分についての意見書について | |
| 2 | 6月16日 月曜日 13:30～15:30 会議室 | 熟議テーマ (1)地域人材によるクラブ活動の取組について (2)学校支援活動の具体策について ・地域人材の活用 (3)学校評価アンケートの項目の検討について <input type="checkbox"/> 学校支援活動の近況 | |
| 3 | 10月23日 木曜日 13:00～15:00 会議室 | 熟議テーマ (1)令和の日本型学校教育について ・授業参観と子供たちに付けたい力 ・教師との座談会 (2)大規模改修に伴う教育活動について <input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査の結果について | ★学校運営協議会の自己評価表 ★委員の意見収集⇒学校への提出 締め切り日 11月7日(金) 教頭あて |
| 4 | 令和8年 2月17日 火曜日 13:30～15:00 会議室 | 熟議テーマ (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の説明 ⇒改善方策について熟議(この結果を学校関係者評価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明と承認 (3)学校運営協議会の自己評価 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告 | ★学校評価の自己評価、学校関係者評価は、教育総務課へ提出、学校HPに公表 ★学校運営協議会の自己評価は、学校運営協議会会長から教育総務課へ提出、学校HPに公表 ★夢育やらまいかCS加算分の報告は、意見書を教育総務課へ提出 |

第4回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

| | |
|-----|--------------------|
| 会長 | |
| 副会長 | ひらの けいご 平野 圭吾 |
| 委員 | やまだ たにかず 山田 谷一 |
| 委員 | かわかみ れいこ 川上 玲子 |
| 委員 | はしもと のりゆき 橋本 憲幸 |
| 委員 | みやもと よしこ 宮本 慶子 |
| 委員 | はしもと かずよ 橋本 かずよ |
| 委員 | ささき ともなり 佐々木 知成 |
| 委員 | |

| | |
|------------------|-----------------|
| 学校支援 コーディネーター | やの たかえ 矢野 貴恵 |
|------------------|-----------------|

オブザーバー

| | |
|----------|-------|
| 西部協働センター | 横市 佳音 |
|----------|-------|

学校

| | |
|------------|--------|
| 校長 | 浮田 佳昭 |
| 教頭 | 鈴木 俊彰 |
| 主幹 | 中村 隆太郎 |
| C S 担当教職員 | 天野 毅稔 |
| C S ディレクター | |

浜松市教育委員会

| | |
|-------|--|
| 教育総務課 | |
|-------|--|



学校評価アンケートありがとうございました。

1 広沢っ子宣言と令和7年度の重点目標

- 宣言1 笑顔で気持ちのよいあいさつをし、マナーを守って行動します。
重点目標：自分から進んであいさつする子 (95%以上)
- 宣言2 相手を思いやり、友達にやさしくします。
重点目標：友達を大切にする子 (90%以上)
- 宣言3 自分の夢をかなえるために、進んで勉強します。
重点目標：勉強が楽しい子 (85%以上)
- 宣言4 チャレンジしたことを最後までやり抜きます。
重点目標：目標に向かって頑張る子 (95%以上)
- 宣言5 命を大切にし、けがや病気に気をつけて生活します。
重点目標：病気やけがに気を付けて生活する子 (90%以上)



* () 内は重点目標に対しての数値目標

2 アンケート結果 (児童)

☆ 児童の評価

* 集計結果は、「あてはまる」、「だいたいあてはまる」を合わせた数

| | 番号 | 設 問 | R6 | R7 | R6との比較 |
|-----|----|--|-------|-------|--------|
| 宣言1 | 1 | わたしは 家族や友達、先生に進んで気持ちのよいあいさつをしている。 | 89.9% | 90.3% | + 0.4% |
| | 2 | わたしは、正しく廊下や階段を歩いて、落ち着いて生活している。 | 75.9% | 76.1% | + 0.2% |
| | 3 | わたしは、学校のために進んで清掃や委員会活動に取り組んでいる。 | 83.5% | 78.9% | - 4.6% |
| 宣言2 | 4 | わたしは、丁寧で温かい言葉遣いをしている。 | 81.2% | 82.4% | + 1.2% |
| | 5 | わたしは、進んでかがやきレターを書いたり、友達のよいところを見付けたりしている。 | 62.6% | 57.6% | - 5.0% |
| | 6 | わたしは、いじめをしないで、友達を大切にしている。 | 93.3% | 92.4% | - 0.9% |
| 宣言3 | 7 | わたしは、勉強が楽しい。 | 81.8% | 78.2% | - 3.6% |
| | 8 | わたしは、見通しをもって計画を立てたり、振り返りをしたりして課題を解決している。 | 81.1% | 78.9% | - 2.2% |
| | 9 | わたしは、計画的に家庭学習に取り組んでいる。 | 86.2% | 84.2% | - 2.0% |
| | 10 | わたしは、クロムブックや図書を使って、進んで調べたり、まとめたりしている。 | 74.8% | 71.8% | - 3.0% |
| 宣言4 | 11 | わたしは、今の勉強がこれからの生活や将来に役立つと感じている。 | 91.3% | 89.4% | - 1.9% |
| | 12 | わたしは、自分のめあてに向かって最後までやり抜いている。 | 90.9% | 92.4% | + 1.5% |
| | 13 | わたしは、行事や暗唱に向けて、一生懸命取り組んでいる。 | 92.6% | 91.5% | - 1.1% |
| 宣言5 | 14 | わたしは、病気やけがに気を付けて生活している。 | 92.9% | 91.1% | - 1.8% |
| | 15 | わたしは、交通安全に気を付けて生活している。 | 95.6% | 96.4% | + 0.8% |
| | 16 | わたしは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。 | 72.5% | 75.6% | + 3.1% |
| | 17 | わたしは、お世話になっている保護者や地域ボランティアの方に進んで挨拶をしている。 | 90.6% | 87.7% | - 2.9% |

<アンケート結果 (児童) を受けて>

- 広沢っ子宣言1「わたしは、家族や友達、先生に進んで気持ちのよいあいさつをしている。」の数値が昨年度に比べて0.4%上昇し、90%を上回りました。これは、企画委員会主催の挨拶活動を通して、校内で互いに挨拶をする意識が高まった結果だと考えます。今後は、家族や地域にも挨拶の輪を広げていきたいです。
- 広沢っ子宣言2「わたしは、丁寧で温かい言葉遣いをしている。」の数値が昨年度に比べて1.2%上昇しました。今年度は「かがやきレター」を通して、友達の頑張りを認めたり、友達に感謝したりする児童が多く見られました。このような温かい関係が、普段の会話の中の言葉遣いにも表れていると考えます。
- 広沢っ子宣言4「わたしは、自分のめあてに向かって最後までやり抜いている。」の数値が昨年度に比べて、1.5%上昇しました。これは、キャリアパスポートを通して、授業や行事での目標や見通しをもって取り組み、その頑張りを自身で振り返ることができていることの表れだと考えます。
- 広沢っ子宣言5「わたしは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。」の数値が昨年度に比べて、3.1%上昇しました。日課の中で、20分休みや昼休みを、週を通して同じ時間帯に設定したことで、定期的に外遊びをする児童が増えました。今後も怪我無く安全に体を動かせる環境づくりを考えていきます。

- 広沢っ子宣言1「わたしは、学校のために進んで清掃や委員会活動に取り組んでいる。」の数値が昨年度に比べて4.6%下降し、肯定的な回答の児童が80%を下回りました。週1回の全校清掃に加えて、学級ごとに短時間の清掃を行っています。まだ清掃活動の習慣が定着していないと考えます。今後は、児童にとって分かりやすく時間や役割を設定し、清掃活動に進んで取り組めるようにしていきます。
- 広沢っ子宣言2「わたしは、進んでかがやきレターを書いたり、友達のよいところを見付けたりしている。」の数値が昨年度に比べて5.0%下降しました。低学年の取り組みの多さに比べると、高学年での取り組みが少なくなっていました。今後は、思いやり委員会を中心に、行事や普段の生活で友達の行動に目を向ける機会を設けるとともに、かがやきレターの内容を放送等で紹介していきます。
- 広沢っ子宣言3「わたしは、勉強が楽しい。」の数値が昨年度に比べて3.6%下降して、80%を下回りました。高学年では、自身で目標や取り組み方を考え、進んで取り組んでいる児童が増えているのに対し、低学年が見通しをもって学習に取り組む難しさがあると感じます。また、「勉強の楽しさ」について、学校全体で共有し、充実した学習を目指します。
- 広沢っ子宣言5「わたしは、お世話になっている保護者や地域ボランティアの方に進んで挨拶をしている。」の数値が昨年度に比べて2.9%下降して、90%を下回りました。校内で友達や教員に対して挨拶をする児童が増えた一方、校外での挨拶ができていないことが表れています。見守り隊やSQLなどの取り組みを紹介し、進んで挨拶ができるようにしていきます。

3 アンケート結果（保護者）

☆保護者の評価

*集計結果は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数

| | 番号 | 設 問 | R6 | R7 | R6との比較 |
|-----|----|---|-------|-------|--------|
| 宣言1 | 1 | お子さんは、家族や友達に進んで気持ちのよい挨拶をしている。 | 86.8% | 87.8% | +1.0% |
| | 2 | お子さんは、学級や学校のために、進んで清掃や委員会活動（5・6年）に取り組んでいる。 | 93.4% | 91.8% | -1.6% |
| 宣言2 | 3 | お子さんは、友達に思いやりのある言動ができています。 | 95.6% | 96.6% | +1.0% |
| | 4 | 感動や体験の場が、お子さんの心の成長につながっていると感じる。 | 99.8% | 99.0% | -0.8% |
| 宣言3 | 5 | お子さんは、勉強が楽しいと感じている。 | 74.8% | 73.1% | -1.7% |
| | 6 | お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。 | 86.6% | 83.8% | -2.8% |
| | 7 | お子さんは、クロムブックを活用した授業をしていると話をしている。 | 88.8% | 83.9% | -4.9% |
| | 8 | お子さんは、計画的に家庭学習に取り組んでいる。 | 71.0% | 68.6% | -2.4% |
| 宣言4 | 9 | お子さんは、自分の目標に向けて粘り強く取り組んでいる。 | 80.7% | 80.7% | ±0% |
| | 10 | お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。 | 94.9% | 92.7% | -2.2% |
| 宣言5 | 11 | お子さんは、健康に気を付けて生活している。 | 92.2% | 91.7% | -0.5% |
| | 12 | お子さんは、交通安全に気を付けている。 | 97.3% | 96.1% | -1.2% |
| | 13 | お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。 | 73.9% | 72.0% | -1.9% |
| その他 | 14 | 学校は、積極的に情報を発信している。（各種たより・ホームページ・授業公開等） | 97.5% | 93.9% | -3.6% |
| | 15 | 学校は、家庭と連携して教育活動にあたっている。（三者面談や学級懇談会、教育相談日の設定等） | 97.0% | 95.6% | -1.4% |
| | 16 | 学校は、地域の教育資源（施設や人材）を生かすことで、子供の豊かな教育につながっている。 | 94.1% | 92.9% | -1.2% |

<保護者の皆様からの主な御意見>

◎「広沢っ子宣言1」に関する御意見

- ・おかげさまで本人は学校がとても好きで授業も楽しいようですので、古い考えかもしれませんが、学校の掃除をこどもたちにもう少しさせて欲しいと感じています。

◎「広沢っ子宣言2」に関する御意見

- ・低学年からピア・サポート等で、他者を思いやること、されたら嫌なことを理解し、自分がされて嫌なことをしないなどを取り入れることはできないのでしょうか？

◎「広沢っ子宣言3」に関する御意見

- ・宿題が少ない様に感じます。予定表も書く習慣がないので、字を書く事が少なくなっている様に思います。自分で課題を考えてやる事も大事ですが、与えられた物を自分で考えてこなす力も必要かと思えます。
- ・子供から自主性を引き出すのが難しいので、自分で取り組む宿題が難しい。自分で決められなかった

時の為に、モデルケースの提案があると有難いです。

- ・校外学習で実際訪れてお話を聞く機会が楽しく学びになっていると話していました。クロムブックを使った発表も楽しいそうです。
- ◎「広沢っ子宣言4」に関する御意見
 - ・音楽発表会は両親で見に行くことができるとありがたいです。キャリアパスポートを持って帰ってきた時に、キャリアってわかる？と聞いたらわからないといていたので、各学年にとってのわかりやすい言葉で、毎年キャリアデザインに関するインプットいただけると良いと思いました。今の時期は無形資産をたくさん蓄えてほしいです。
- ◎「広沢っ子宣言5」に関する御意見
 - ・改修工事で校庭が使用できなくなるとのことで、運動面や行事等、また休み時間の運動場での活動等、教育活動がどんどん規模削減、なくなっていくのではないかと不安の声をよく聞きます。いろいろとご苦労はあるかとおもいますが、一度今後どのように対応されていくご予定かを保護者にお知らせいただければ幸いです。

4 職員の評価

- かがやきレターの活用がよくなっている。もっと学級でも呼び掛けていきたい。
- キャリアパスポートを活用して、行事に向かって目標をもって頑張る子供の姿が多く見られた。
- 自ら考える家庭学習の形に慣れてきている様子も見られるが、個人差が大きいのも感じる。
- 漢字の読み書きの力が低下していると思うので、書き取りは復活させたほうがよい。
- かがやきルームに「支援員または教員が常駐」となっているがそれができていない。
- 大規模改修が行われることもあり、今後の子供たちの体力低下が心配。
- 安全面で廊下歩行、避難訓練、登下校時の歩行の仕方、交通ルールの遵守などをもう少し意識させたい。

5 今後の改善方策

目指す学校の姿 「大好き広沢 ～みんなの笑顔があふれる学校～」

子供も職員も幸せを感じて笑顔で生活し、わくわくした前向きな気持ちが、保護者や地域の方々も伝わり、笑顔があふれる教育活動を推進する。そのために、来年度もキャリア教育と広沢っ子宣言との関連を図りながら、自分らしく生きていくための基礎的・汎用的能力を育てていく。

【重点1】「かいけつする力」（課題対応能力）の育成

- 生きた知識、技能を使って、主体的な学びを実現できるように、職員研修を通して、単元計画と児童に分かりやすく必要性が感じられるゴールを学年共有で設定していく。また、振り返りの場面では互いの頑張りを認め合い、自身の成長を実感できる取り組みを行う。子供の多様性に対応した「個別最適な学び」や「協働的な学び」との一体化を推進し、授業改善に努めていきたい。
- キャリアパスポートを活用して、自身の目標や夢に向かって取り組むべきことを明確にするとともに、友達や教員、家族からの言葉を通して、自身の成長を実感し、次の課題解決に前向きに取り組めるようにしていく。

【重点2】「人とかかわる力」（人間関係形成能力）の育成

- 学校が子供にとって安心できる場所になるために、多様性を認め合い、人との関わりを大切にしながら、より良い対人関係を構築していく。構成的エンカウンターやピア・サポートの取組に加え、引き続き、いじめの未然防止、早期発見、組織的対応に取り組んでいく。
- 児童が校内での学習と地域社会との結びつきを実感できるようにするために、学校運営協議会のサポートによる学校支援活動や地域人材の確保をするとともに、校外の施設を有効に活用していく。
- 子供の育成には生活基盤である家庭（保護者）との密な連携が不可欠である。面談や教育相談の機会を通して、保護者の声に耳を傾け、迅速かつ真摯に対応していく。また、日々の連絡や便り、学校ホームページやさくら連絡網等を活用して、児童のよさを積極的に発信するようにして、つながりをさらに深めていきたい。

6 学校運営協議会による学校関係者評価

令和8年度 学校運営方針の概要（案）

1 学校教育目標と重点目標

(1) 学校教育目標

「共に輝き 未来を拓く子」

■「共に輝き」…多様性を尊重し互いの良さを発揮しながら協働しようとする精神

自他の違いを価値あるものとして受け止め、他者の考えや感じ方に共感し、目標に向かって協力し合い、時には切磋琢磨しながら自己実現を図っていく力を身に付けさせたい。

■「未来を拓く」…夢に向かってリスクを恐れず新しい価値の創造に向かってチャレンジする精神

困難な出来事に出会っても決してあきらめることなく、最後まで努力し続け、前進しようとするたくましさ身に付けさせたい。

(2) 広沢っ子宣言

学校教育目標の具現を目指し、以下に挙げる点を重点目標とする。子供たちにも分かりやすいように、行動指針である「広沢っ子宣言」とキャリア教育で育てたい基礎的・汎用的能力とを関連させて取り組む。

広沢っ子宣言は、創立80周年を記念して平成27年2月に設定し、広沢小学校児童のあるべき姿を表したものである。（令和4年度一部改訂）

【広沢っ子宣言】

- 1 笑顔で気持ちのよいあいさつをし、マナーを守って行動します
- 2 相手を思いやり、友だちにやさしくします
- 3 自分の夢をかなえるために、進んで勉強します
- 4 チャレンジしたことを最後までやり抜きます
- 5 命を大切に、健康や安全に気をつけて生活します

※「広沢っ子宣言」が、絵に描いた餅にならないよう、下位項目にまで落とし込んだ繰り返しの指導に心掛ける。

(3) 重点目標及び具体的な手立て

① 自分から進んで挨拶をする子 95%

- ＜広沢っ子宣言1 キャリアの視点：「かかわる力」(人間関係・社会形成能力)＞
- ・「あいさつ週間」の取組
 - ・「あいさつキッズ」(ボランティア活動)の推進
 - ・正しい廊下歩行の意識付け
 - ・委員会活動やボランティア清掃の取組
 - ・広沢小見守り隊、地域の方への感謝

② 友達を大切にする子 90%

- ＜広沢っ子宣言2 キャリアの視点：「かかわる力」(人間関係・社会形成能力)＞
- ・丁寧で温かい言葉遣い
 - ・いじめ見逃し0
 - ・「かがやきレター」の活用
 - ・グループエンカウンター、ピア・サポートの取組
 - ・はばたき学級との交流

③ 勉強が楽しい子 85%

- ＜広沢っ子宣言3 キャリアの視点：「かいけつする力」(課題対応能力)＞
- ・タブレット端末機(chrome book)の有効活用とICTの職員研修

- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」の積極的な取組
- ・家庭学習の工夫と家庭との連携
- ・教科学習におけるキャリア教育の推進(学ぶ意義や将来とのつながりを意識した学習)

④ 目標に向かって頑張る子 95%

＜広沢っ子宣言4 キャリアの視点:「やりぬく力」(自己理解・自己管理能力)＞

- ・「なりたい自分」(目標設定と振り返り) ・キャリア・パスポートの活用
- ・キャリア・カウンセリングの充実 ・暗唱活動

⑤ 病気やけがに気を付けて生活する子 90%

＜広沢っ子宣言5 キャリアの視点:「かいけつする力」(課題対応能力)＞

- ・体育科の授業の充実 ・命の尊さと安全意識の向上(交通、防災)
- ・持久走と縄跳びチャレンジ ・外遊びの推奨
- ・広沢小見守り隊への感謝 ・給食に対する感謝の気持ち

2 目指す学校像

「大好き広沢 ～みんなの笑顔があふれる学校～」

(1) 多様性を尊重し、一人一人を大切にしたい学校(子供のウェルビーイングの向上)

広沢小学校は、年間の転出入児童が多い学校である。県外からの転入以外にも、外国で暮らして現地や日本人学校に在籍していた経歴をもつ児童が非常に多い。子供たちは、それぞれ豊かな個性をもっており、広沢小学校では、この個性の違いを価値あるものとして認め合う教育を目指している。勉強や運動が得意な子もいれば不得意な子もいる。また、人付き合いが上手な子もいれば苦手な子もいる。すべての子供を認め励まし、子供が安心して自己実現を図ることができるよう一人一人を大きく包み込む「懐の深い教育」を目指す。広沢っ子の、他を快く受け入れ親切にできるといったよさを、さらに引き出すことができればよい。(多様性と包摂性)

発達支援学級は、その認知やニーズが高まっている。自閉症情緒学級だけではなく、知的学級のニーズもある。今後も一人一人の子供に応じた教育計画を工夫することに加え、通常学級の児童との積極的な交流活動をすることにより、互いの存在を認め合う子供の育成を図っていく。発達支援教育の理念は、全ての教育の原点であり、子供のウェルビーイングにつながるものである。

(2) 教職員が働きがいのある学校(教職員のウェルビーイングの向上)

教職という仕事は、子供の成長を間近で感じることができ、喜びや達成感を仲間とともに味わうことができる働きがいのある仕事である。明るく活力のある学校づくりをするためには、子供と関わる教職員自らも元気で明るく、自分らしさを発揮して働いていることが大切である。教職員一人一人が勤務時間を自己管理し、余暇を楽しんだり、学校以外の人とのつながりをもったりする等、ワークライフバランスのとれた生活に心掛けることができるような声掛けをしていく。困ったときには一人で悩まず、日々の様々な問題に対して情報共有をし、学年体制、または学校体制で課題解決を図るチームワークが大切である。誰一人として教職員が孤立しない学校づくりを目指し、教職員のウェルビーイングを向上させていきたい。

近年は、学校だけでは解決できない事案も発生しているので、そんなときには、SCやSSW、医療機関等外部の専門機関と連携を取るなどの体制づくりも必要である。教師が子供と向き合う時間、明日の授業のための教材研究をする時間を確保するために、教育の情報化やペーパーレス化、業務の見直しや会議の効率化等、多忙化解消に向けた取組を推進していく。

(3) 子供が安心して通える学校

学校が子供にとって安心できる場所になるためには、子供同士、教職員と子供との人間関係が良好であることが大切である。友達への心ない言葉や態度が人の心を傷つけ、ときには、いじめにつながることの指導を丁寧に行うとともに、些細な子供の心の変容に気付くことができるように心掛け、いじめの早期発見・早期対応に努める。「いじめ防止基本方針」を教職員と保護者で共有し、「いじめ見逃し0」を目指す。

「校内まなびの教室(かがやき)」は、不登校や登校渋りの子供にとって安心して学ぶことできる居場所としての機能を十分に果たしている。今後も、子供の居場所の選択肢の一つとして重要な機能を果たしていくことが期待される。そこにいる子供と役割・意義について、全校で共有していくことが大切である。

(4) 地域を愛する心とキャリア教育を推進する学校

生活科の「まちたんけん」の学習や中学年の総合的な学習の時間をとおして、自分たちが住んでいる町に愛着をもち、地域のよさに気付かせる教育の場を設定していく。愛校心や地域を愛する心を育みながら、主体的に学習に取り組むことができる子供の育成を図っていく。

これからの予測困難な社会においても、自ら目標を設定して、周りの人と協働しながら課題を解決していく力が必要である。高学年の総合的な学習の時間においては、これらの力が身に付くように、外部人材を活用した学習を行う。広沢地区は、市内有数の文教地区であり、数ある教育施設と連携して質の高い体験の教育活動(例:静大工学部でのプログラミング体験、「オクトーバープロジェクト」等)を展開することができる。また、地域には、医療従事者、法曹関係者、企業経営者等の様々な分野で活躍している保護者等の人的教育資源も豊富である。これからも、広沢小ならではのキャリア教育を推進し、学校運営協議会と連携して貴重な教育資源とのつながりを保っていきたい。 (主体性)

(5) 家庭・地域と連携し、共に歩む学校

教職員一人一人が教育公務員であるという自覚をもち、子供に対する不適切な言動や不祥事の根絶に努め、保護者や地域からの信頼を失わない努力をしていく。

子供の育成には生活基盤である家庭(保護者)との密な連携を欠かすことはできない。三者面談、教育相談日の機会をとおして、保護者の声に耳を傾け真摯な態度で接する。また、日々の連絡や学校だより・学年だより、学校ホームページ、さくら連絡網等を活用して、子供のよさを積極的に発信するように心掛け、保護者との信頼関係づくりにも励んでいく。

地域との連携では、学校運営協議会が我々の心強い存在となっている。学校経営方針に関する熟議と承認、学校における諸問題に対する熟議を充実させて、これからもコミュニティ・スクール推進を図っていく。学校運営協議会の取組を地域住民に発信する方法や、管理職と担当だけでなく他の教職員もできるだけ学校運営協議会に参加することを続けていく。(信頼・協働)

(様式1)

学校番号 (小)・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (広沢小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

・今年度の重点として、広沢小の子供たちに付けたい力である課題対応能力の育成に向けて、一緒になって取組を考えていきたい。
・広沢小見守り隊のさらなる地域と連携強化を図っていく。
・コミュニティ・スクールの具体的な取組を地域に発信し、充実した活動を行うために地域人材の活用方法について考えていく。教師のサポートに地域人材を活用することで、教師の働き方改革を図っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ よくできた できた あまりできなかった できなかった

(理由)

○校長から、学校評価を生かした本年度の学校運営方針について説明があり、学校教育目標について、委員全員で共通理解して、熟議することができた。
○「かいつする力」「かかわる力」に重点を置いたことで、教育目標が分かりやすく、熟議することができた。
○委員から、子供のより良い生活環境を整えるために、考慮した話し合いができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ よくできた できた あまりできなかった できなかった

(理由)

○第2回のクラブ活動における地域住民講師による未体験への挑戦や第3回の子供たちの「かいつする力」を育むための授業を見聞した後、これからの教育活動への熟議を進めることができた。
○学校支援活動の情報提供を踏まえ、学校支援活動について忌憚のない意見があり、今後に向けて具体的な内容と人材についてどのような協力体制が望まれるのか熟議できた。
○学校運営協議会として、具体的な学校支援活動につながっているかは、分からないところではあるが、学校支援活動について、熟議を進めることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ 充分に行った 行った あまり行わなかった 行わなかった

(理由)

○学校だよりやホームページで情報発信を行ったほか、所属する自治会の役員会議などの自治会活動の場で、協議会の情報提供を積極的に実施している。
○運絵協議会に学級を担任している教職員が参加していたとが、大きな情報発信につながっていくと実感した。
○地域では、依然として、学校運営協議会の認知度が低いため、地区社協の会合や講演会等で開かれた学校づくり・地域との連携や協力についての説明をし、協力をお願いしていく必要がある。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

○来年度の重点として、広沢小の子供たちに付けたい力である課題対応能力「かいつする力」、人間関係・社会形成能力「かかわる力」の育成に向けて、一緒になって取組を考えていく。
○大規模改修の中でも、子供たちが、安心して学校生活を送ることができるように、教職員と学校運営協議会委員の関係を強化するとともに、学校運営協議会の協力体制をより具現化し、熟議していく。
○コミュニティ・スクールの取組についての発信方法を検討し、充実した活動を行うために地域人材の活用方法について考えていく。教師のサポートに地域人材を活用することで、教師の働き方改革を図っていく。